

平成29年5月19日

第43回鳥取県中学校総合体育大会における 「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

鳥取県中学校体育連盟バレーボール専門部

熱中症予防の観点から、第43回鳥取県中学校総合体育大会で「給水のためのタイムアウト」を採用し、次のように取り扱うこととなりました。ご確認いただき、スムーズな大会運営にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1. 今大会では、各セット（第3セットを含む）において、リードするチームが13点に達した時、30秒間の給水のためのタイムアウト（以下WTO）が自動的に適用される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時をする。ハンドシグナルは示さない。
2. このWTOは“給水を目的とするもの”であり、その間、選手はウォームアップエリア付近で給水を行う。また、監督・コーチ・マネージャー等のチーム・スタッフは、ベンチに座っていることとし、選手への指示や作戦伝達等を行わない。
(給水を行うか否かの判断は、選手本人の意志による。給水を行わなくても同エリアにとどまること。控え選手も同様である。)
3. 第3セットは、13点でチェンジコートをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ前のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。
4. 正規の中断の要求（タイムアウト、選手交代等）やリベロ・リプレースメントよりもWTOを優先する。正規の中断の要求（タイムアウト、選手交代等）やリベロ・リプレースメントを行う場合は、WTOの後にその手続きを行う。